

「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

システムパッケージリリース情報 【Version 5.2.0】

2021年5月13日

日本医師会ORCA管理機構

改訂内容

2021年5月13日 初版

1 パッケージリリースについて

1-1 注意事項

(1) アップグレード前の作業について

Ver5.0.0 からこのパッケージへアップグレードするとマスタ分離対応により、マスタデータ移行処理を行うこととなります。

アップグレードを行う前には、最新の状態（プログラム更新、マスタ更新）を行ってください。

(2) データベースのバックアップについて

このパッケージへアップグレードするとデータベースの変更が行われます。

アップグレードを行う前には必ずデータベースのバックアップを行い、エラーが発生していないことを確認してください。

アップグレード中にエラーが発生した場合に、アップグレード前のバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

また、グループ診療でのデータベース変更では、システム管理に記録されている医療機関 ID（アップグレード処理日に有効なもの）と異なる医療機関 ID を持つ行を無条件に削除します。

よって、アップグレードは正常に終了しても、システム管理に想定を超えた内容の登録があった場合、すべて行削除される可能性もあります。この場合もバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

このような状態にあっては、サポートセンターへ問い合わせをされても、サポートの対象とは認めませんので悪しからずご了承ください。

(3) 処理時間について

パッケージアップグレードによりテーブルの構造変更を行います。

変更を行うテーブル数も多いうえに対象のテーブルに格納されている行数が多い場合は、マシンの性能（スペック）にもよりますが、かなり処理時間がかかると予想されますのでバージョンアップの計画を立てて行うようにしてください。

お昼の休憩時間等にパッケージアップグレードを行うということは避けていただいた方が無難です。業務に支障をきたさない時間帯に余裕をもって行ってください。

1-2 日レセパッケージ

バージョン 5.2.0

対応 OS

- ・ Ubuntu 20.04 LTS(Focal Fossa) 64bit
- ・ Ubuntu 18.04 LTS(Bionic Beaver) 64bit

1-3 クリーン・インストール

公式ホームページの「日医標準レセプトソフトのダウンロード・インストール」をご参照ください。

- (1) Ubuntu 20.04 LTS(Focal Fossa)版

以下のページをご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/download/focal/>

- (2) Ubuntu 18.04 LTS(Bionic Beaver)版

以下のページをご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/download/bionic/>

1-4 アップグレード・インストール

アップグレード方法について説明します。

※Ubuntu 18.04 LTS(Bionic Beaver)版の場合を主な例とします。

- (1) データベースをバックアップします。

アップグレードの前には必ずデータベースのバックアップを行ってください。

バックアップの方法

```
$ sudo -u orca pg_dump -Fc orca > (バックアップファイル名)
```

- (2) スキーマチェックを行います。

現在のデータベースの状態をチェックします。

最新のチェックファイルによりチェック処理を行うため以下の方法により処理を行います。

```
$ wget https://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ tar xvzf jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ cd jma-receipt-dbscmchk
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

処理が終了したらメッセージが表示されます。作業ディレクトリ

(jma-receipt-dbscmchk/)に jma-receipt-dbscmchk.log というファイルが作成されます。

ファイルの内容を確認してください。

整合性に問題なしと出ればスキーマは問題ありません。

- (3) apt-line の追加をします。

日レセパッケージを取得するための apt-line を追加します。

apt-line の設定ファイル(jma-receipt-bionic52.list)を公式ウェブサイトから取得し、/etc/apt/sources.list.d 以下に配置します。

```
$ cd /etc/apt/sources.list.d
$ sudo wget https://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu/jma-receipt-bionic52.list
$ cd
```

(4) パッケージをダウンロードします。

```
$ sudo apt update
$ sudo apt dist-upgrade -dy
```

ダウンロード中に中断されたなどエラーが発生していないことを確認します。エラーが発生し終了した場合は再度ダウンロードを行います。

(5) アップグレードします。

```
$ sudo apt dist-upgrade
```

1-5 データベースセットアップ処理

(1) 既存のデータベースのエンコーディングが UTF-8 の場合は設定ファイルを作成します。
「 /etc/jma-receipt/db.conf 」というファイルを以下の内容で作成します。

```
DBENCODING="UTF-8"
```

注意

セットアップ処理スクリプトでは、データベースエンコーディングのデフォルトを EUC-JP とします。

既存データベースのエンコーディングが UTF-8 の場合は、設定ファイル作成は必須となります。

(2) コマンドを実行します。

```
$ sudo jma-setup
```

1-6 日レセの起動

データベースセットアップ処理が終了しても日レセは自動で起動しませんので、以下のコマンドで起動します。

```
$ sudo systemctl stop jma-receipt
$ sudo systemctl start jma-receipt
```

留意事項

systemd により処理メッセージが表示されませんので、以下のコマンドで確認ができます。

```
$ journalctl -xe -u jma-receipt
```

1-7 アップグレード後の初期画面

日レセが起動したらクライアントアプリケーションから日レセへ接続します。

画面中央に赤字で「マスタデータ移行処理が未実施です。管理者まで連絡してください」とメッセージが表示された場合は、後で説明しますマスタデータ移行処理が実施されていないために表示されますので、ここでは無視して次へ進みます。

1-8 プログラム更新処理

プログラムの緊急修正情報があるか確認を行ってください。

緊急修正情報がある場合は、必ず業務メニュー画面より「プログラム更新」を行ってください。

1-9 データベーススキーマ変更の確認について

業務メニューからの「92 マスタ更新」を選択するとデータベースの構造バージョンを確認できます。

正常にアップグレード（インストール）が完了すると「構造 ver (白)」及び「構造 ver (ORCA)」の表示は次のようになります。

「S-050200-1-20210126-6」 ※令和3年3月31日現在

また、/var/log/jma-receipt/orca-db-install-5.2.0.log というファイルが作成されますので“ERROR”という文字が含まれていないか確認します。

```
$ grep ERROR /var/log/jma-receipt/orca-db-install-5.2.0.log
```

さらに、スキーマチェックを行います。

```
$ cd jma-receipt-dbscmchk  
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

不整合が発生していないことを確認します。

1-10 マスタデータの移行処理について

【留意事項】5.0.0 から 5.2.0 へアップグレードした場合は、マスタデータ移行処理を行います。5.1.0 から 5.2.0 へアップグレードした場合は、1-11 へ進みます。

パッケージをアップグレード後には、必ずマスタデータの移行処理を行います。

点数、チェック、一般老人置換、保険者、住所の各マスタは、ユーザーにより変更が可能でした。5.1.0 からはユーザーが変更したマスタコードについては、ユーザーが管理するということとなります。よって、マスタデータの移行処理により、アップグレード前にユーザーが変更した内容を抽出し、ユーザー管理用として登録します。

この処理では、アップグレード前のマスタと標準提供マスタの突き合わせを行います。よって、jma-setupにより各マスタは標準提供データがセットアップされます。

(1) アクセスキーの設定を確認します。

この処理では、ライセンスマスタである保険者マスタも該当しますので、必ずアクセスキーが必要になります。「92 マスタ更新」からマスタ更新管理一覧画にて「キー取得」ボタンが表示されている場合は、アクセスキーが未設定ですので設定をします。

(2) 保険者マスタ（標準提供）をツールにより、より最新の状態に更新します。

```
$ wget https://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/tools/jma-master-setup.tgz
$ tar xvzf jma-master-setup.tgz
$ cd jma-master-setup
$ sudo -u orca ./jma-master-setup -r -m 9 1
```

※

オプションの最後は医療機関識別番号です

グループ診療構成をでは無い場合は、1 固定です。

グループ診療構成の場合は、登録されている医療機関識別番号分をすべて実行します。

(3) マスタデータ移行処理を実行します。

グループ診療構成の場合は、医療機関の数にもよりますが少々時間がかかります。

```
$ sudo /usr/lib/jma-receipt/bin/jma-migrate
```

留意事項

処理中に「overflow on numeric ABS(value) >= 10⁵ for field with precision 10 scale 5 maxweight = 5, i=0, var->ndigits=6」と出力する場合がありますが、エラーではありませんので無視してください。

(4) 処理結果を確認します。

/var/log/jma-receipt/(hospnum)ORCBMIG(xxxx)-prf.csv のようなファイルが作成されますので確認します。 ※(hospnum) 及び (xxxx) の部分は以下で説明

(hospnum) は、システム上の医療機関を識別する番号で通常は 01 です。グループ診療構成の場合は、02 以上が有り得ます。

(xxxx) は、各マスタを表す名称となります。

点数	: ORCBMIGTENSU-prf.csv
チェック	: ORCBMIGCHK-prf.csv
一般老人置換	: ORCBMIGSRYCDCHG-prf.csv
保険者	: ORCBMIGHKNJAINF-prf.csv
住所	: ORCBMIGADRS-prf.csv

※5-2 マスタデータ移行処理結果の確認を参照してください。

1-11 マスタ更新データの提供について

パッケージをアップグレードしただけでは各種マスタは更新されません。必ず業務メニュー画面より「92 マスタ更新」を行ってください。

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択しマスタ更新管理一覧画面より「更新」ボタン (F12 キー) を選択すると更新処理を開始します。

提供されているマスタ更新データの最新情報は公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

マスタ更新処理プログラムは、/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ にログを書き出します。拡張子が ERR というファイルが空 (0 バイト) でない場合は、対となるファイル名の拡張子 PRF というファイルの内容を確認します。(/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ の 01 は医療機関識別番号です。)

2 Version5.1.0に対する修正プログラム提供内容

Version5.1.0システムに適用させるため提供した修正プログラムについては、すべて当該バージョンに含まれています。提供したプログラムの修正内容については、公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

3 クライアントアプリケーションについて

3-1 利用可能なクライアントアプリケーション

バージョン 5.2.0 リリース版で利用可能なクライアントは以下となります。

- ・ glclient2
panda-client2 1:4.0.0+p18 以降

- ・ monsiaj
最新版 2.0.28 以降

4 データベースの変更について

4-1 変更テーブル一覧

診療行為照会	TBL_SRYSRH	項目追加
--------	------------	------

※ver5.2.0 リリース時に ver5.1.0 で変更されたテーブルは省略しています。

4-2 新設テーブル一覧

ありません。

※ver5.2.0 リリース時に ver5.1.0 で新設されたテーブルは省略しています。

4-3 テーブルスキーマ変更における周辺システムとの連携について

カラムの追加やカラムのデータ型を変更しているテーブルがいくつかあります。

日レセと連携を行う周辺システムをご使用の場合は、アップグレードする前に十分に動作確認等を行ってください。

特に ODBC 経由等でデータベースへアクセスされている場合はご注意ください。

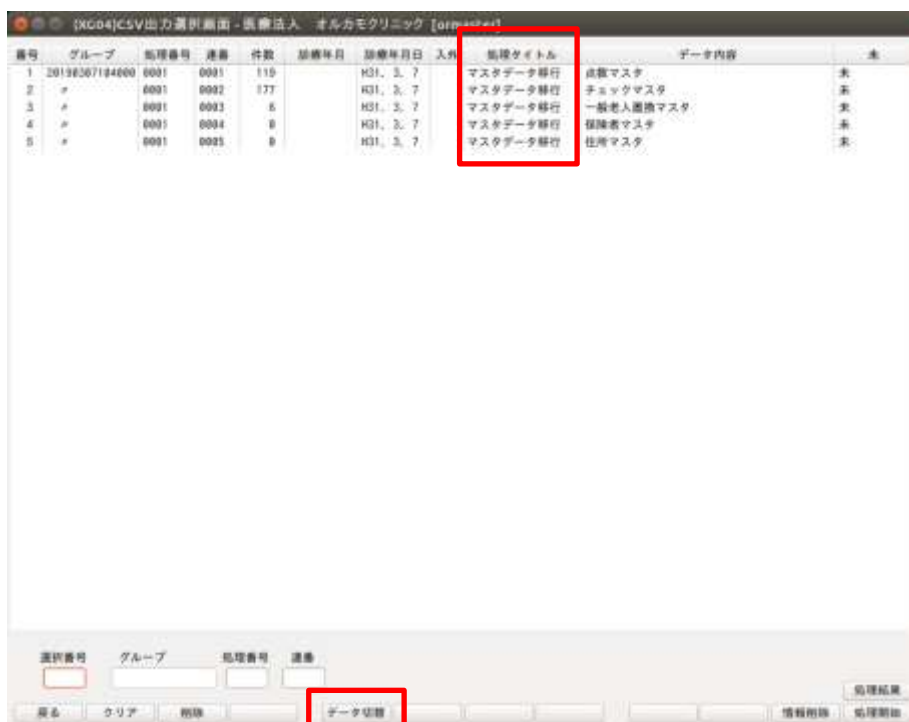
5 その他

5-1 マスタデータ移行処理結果の確認

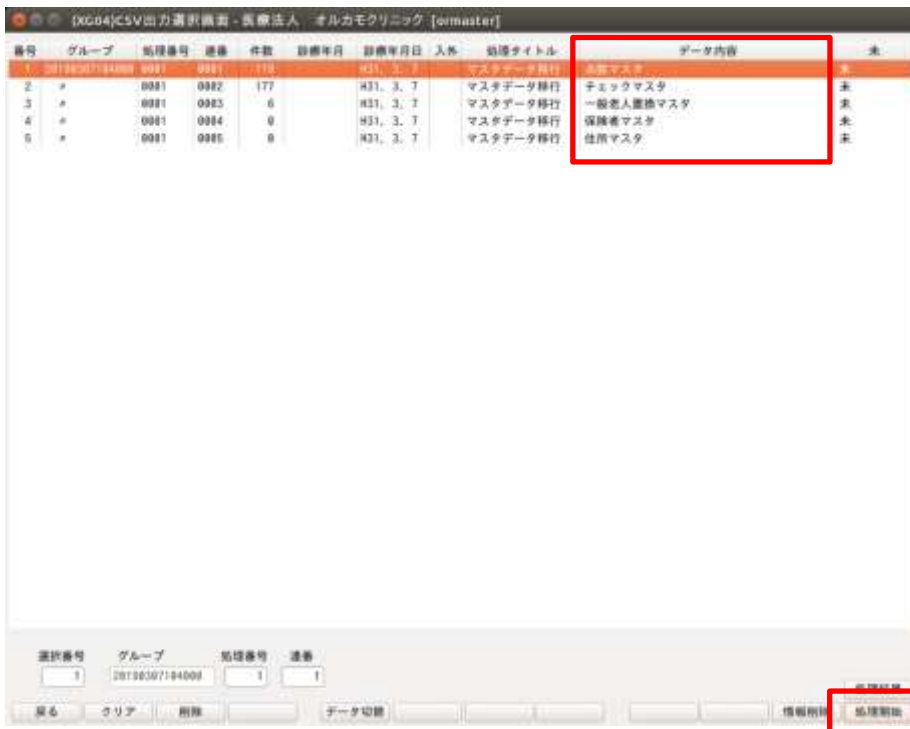
5-1-1 方法①



(1) [診療情報] ボタンをクリックします。



(2) 「処理タイトル」欄が、「マスタデータ移行」と表示される画面を出します。別の表示の場合は、[データ切替] ボタンをクリックして内容を確認します。



(3) 「データ内容」欄にマスタの種類を表示していますので、ダウンロードする内容をクリックして選択します。

「件数」欄が0（ゼロ）は処理結果の確認のため表示していますので、プルーフファイルのダウンロードはできません。

(4) [処理開始]ボタンをクリックします。



(5) プルーフファイルのダウンロード方法を指定して、[OK]ボタンをクリックします。





- (6) 保存確認画面が表示されますので、[保存]ボタンをクリックします。
保存するファイルの選択画面が表示されますので、ダウンロードする場所やファイル名を指定して保存します。

結果	診療コード	開始日	終了日	名称	内容	項目	単位	ユーザ	更新日
ユーザー管理	160054710	20080401	20100331	DRP(重量)			0	2	20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	上限回数	1月	9	20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	漢字名称	桁数	12	20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	漢字名称	プロピカシド錠 10mg	プロピカシド錠 10	20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	カナ名称	桁数	6	20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	カナ名称	プロピカシド錠	プロピカシド錠 10	20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	合計	桁数	1	0
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	半角名称	桁数	1	0
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	旧合計	桁数	1	0
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	旧合計	全額	98	0
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	家内区分		1	0
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	薬価基準コード	2325009F2032		20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	商品名等関連		0	20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	変更年月日	20010725		20180402
ユーザー管理	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	廃止年月日	99999999		20180402
期間不一致	610443007	0	20020331	プロピカシド錠 10mg	項目値の変更	有効期間	20120401	20120413	20180325
期間不一致	611120067	0	20020331	ロビゾール錠 1mg	項目値の変更	有効期間	20100401	20100413	20180402
ユーザー管理	662640574	20020401	20040331	トクゲーム (0.45mg) 7.5cm×10cm	項目値の変更	単位コード		9	0
ユーザー管理	662640574	20020401	20040331	トクゲーム (0.45mg) 7.5cm×10cm	項目値の変更	単位名称		枚	0
特定器材	700590000	0	99999999	内視鏡検査用フィルム	主語				1900:20020402
ユーザー管理	710010005	0	99999999	万年筆型注入薬用注射針(超微細型)	項目値の変更	単位コード		7	20110523
ユーザー管理	710010005	0	99999999	万年筆型注入薬用注射針(超微細型)	項目値の変更	単位名称		0	1
ユーザー管理	710010005	0	99999999	万年筆型注入薬用注射針(超微細型)	項目値の変更	単位名称			20110523
ユーザー管理	739230000	0	20140331	読書用ペンケース	項目値の変更	上限価格		1	0

- (7) プルーフファイルの内容を確認します。
ダウンロードしたプルーフファイルを EXCEL や LibreOffice Calc 等で開きます。
- (8) 例として点数マスタのプルーフファイルの内容です。
A 列 (結果) ・ ・ 大まかな結果の見出し
ユーザー管理 ・ ・ 項目値の変更があるため該当のマスタコード全体をユーザー管理とします。
※プルーフに出力されたマスタコードはすべてユーザー管理です。
期間不一致 ・ ・ 有効期間に相違がありユーザー管理とします。
特定器材 ・ ・ ・ 都道府県購入価格のマスタに金額を設定しています。
- B 列 (診療コード) ・ ・ 点数マスタの診療行為コード
C 列 (開始日) ・ ・ マスタの有効期間の開始日
D 列 (終了日) ・ ・ マスタの有効期間の終了日
E 列 (名称) ・ ・ マスタの漢字名称
F 列 (内容) ・ ・ 相違の見出し

システムパッケージリリース情報

ORCA Project

Copyright(C)2021 ORCA Management Organization Co.,Ltd.All rights reserved.

- G列（項目）・・・マスタの項目名
- H列（オリジナル）・・・標準提供しているマスタの内容
- I列（ユーザ）・・・ユーザーにより変更したマスタの内容
- J列（更新日）・・・マスタの更新日（ユーザーが変更した日ではない）

5-1-2 方法②

月次統計業務より、ユーザーマスターのチェックリストを作成して確認が可能です。

(1) 月次統計業務としてプログラムを登録します。

52 月次統計より空いている帳票番号をクリックし、統計帳票一覧より「ユーザーマスタチェックリスト作成 (ORCBUMCP)」を選択し確定ボタンを押下します。

登録番号	マスク区分	CSV出力	マスタ基準日		
001					
002					
003					
004					
005					
006					
007					
008					
009					
010					

(2) 月次統計業務画面から「ユーザーマスタチェックリスト作成」を選択します。
左側の登録番号をクリックします。

(G03)月次統計-パラメータ説明

ユーザーマスタチェックリスト作成

001 マスタ区分 * 0 CSV出力 * マスタ基準日 *

ORCBUMCP

マスタ区分 1: 点数マスタ
2: チェックマスタ
3: 一般老人置換マスタ (医薬品経過措置)
4: 保険者マスタ
5: 住所マスタ

CSV出力 1: CSVデータを出力します。

マスタ基準日 点数マスタの場合に指定が可能です。
ユーザー点数マスタの有効期間が指定された日付以降を対象とします。
未指定の場合は全てを対象とします。

※このプログラムは、日レセバージョン5.1.0以降で機能します。

メモ欄

戻る クリア 入力欄 メモ欄 確定

パラメータ説明

マスタ区分

- 1: 点数マスタ
- 2: チェックマスタ
- 3: 一般老人置換マスタ (医薬品経過措置)
- 4: 保険者マスタ
- 5: 住所マスタ

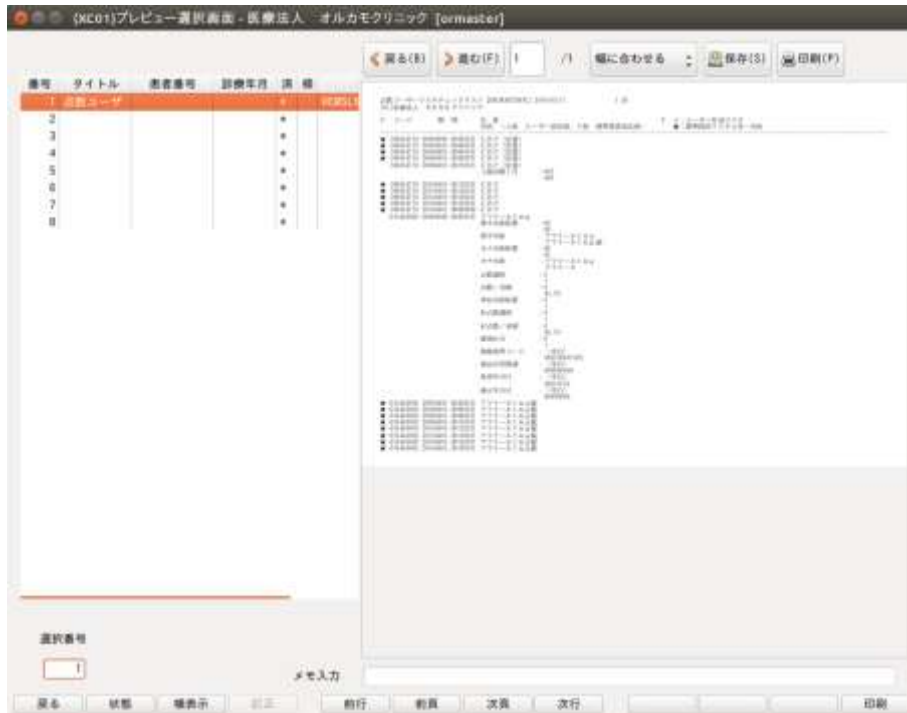
CSV出力

- 1: CSVデータを出力します。

マスタ基準日

(3) パラメータを指定して[確定]ボタンをクリックします。

(4) 元の画面に戻って[処理開始]ボタンをクリックします。



(5) 処理が終了したら、帳票が作成されます。



(6) CSV出力指示をした場合は、CSV ファイルとしてファイルへ出力も可能です。

(7) プルーフファイルの内容

F (フラグ)・・◇ : ユーザー作成マスタ

標準提供マスタではなく、ユーザーが作成したマスタである

★：標準提供マスタと同一内容

ユーザー管理マスタとして登録されているが、レコード自体は標準提供と同一内容である

※点数マスタはマスタコード単位にユーザー管理となる

空白：レコード単位に比較して項目値に違いが含まれる

内容・・・・・・・・項目の名称とその値

上段がユーザーが設定した値

下段が標準提供マスタの値

※（空白）は、値が設定されていないことを表す

5-1-3 確認

各マスタのプルーフ内容を確認します。

- ・アップグレード前にユーザーによりマスタの変更を行った内容が、ユーザーマスタとして登録されていることを確認します。
- ・現在は使用することがなくても過去に変更したことによりユーザーマスタとなりますので、プルーフでマスタの有効期間がある場合はチェックします。
- ・点数マスタの特定器材で酸素等の購入価格を設定するものについては、有効期間と金額が正しく設定されていることを、点数マスタ登録画面より確認してください。また、診療行為でいくつかの期間を対象として、設定した金額に対し、正しい点数が算定されることを確認します。